

● 報告事項 ●

2019 年度通常総会における決定事項

令和元年 5 月 19 日（日）に開催された日本透析医会 2019 年度通常総会において、平成 30 年度事業報告が行われ、続いて平成 30 年度財務諸表、役員（理事及び監事）選任及び新たな規程の制定について審議が行われ、それらが原案どおり承認された。

その通常総会の議事録及び配布資料を掲載する。

また、その後開催された理事会において、会長、副会長、専務理事及び常務理事が選定されたので、その役員名簿を掲載する。

通常総会 議事録

【日 時】 令和元年 5 月 19 日（日）11 時 50 分～12 時 25 分

【場 所】 ソラシティカンファレンスセンター
（東京都千代田区神田駿河台 4-6）

【会員総数】 1,098 名

【出席会員】 693 名（内訳：本人出席 60 名、委任状出席 633 名）

【定足数報告】

- ・開会に先立ち、事務局から、「本日の通常総会の出席会員数は、定款第 17 条の規定に基づき定足数を満たしているため、本通常総会は有効に成立した」旨が告げられた。

【会長挨拶】

- ・秋澤忠男会長から、「透析医療を取り巻く環境は厳しいものがあるが、当会の果たす役割は大きい。透析医療の発展のためにも会員の皆様のご支援をお願いする」旨の挨拶があった。

【議長選出等】

- ・本日の通常総会の議長選出が諮られ、満場一致をもって隈 博政氏が選任され、隈議長から挨拶があった。
- ・続いて、平成 30 年 12 月 3 日にご逝去された理事：吉田豊彦先生、及び平成 30 年 11 月 26 日にご逝去された顧問：山下眞臣先生のご冥福をお祈りし、出席者全員で黙とうが捧げられた。

【議事録署名人選出】

- ・議長は、議案の審議に先立ち、議事録署名人について次の 2 名の者を指名し、議場に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

議事録署名人：篠田俊雄 戸澤修平

【議事内容】

1. 報告事項「平成 30 年度事業報告」

山川智之常務理事から、通常総会資料「平成 30 年度事業報告」に基づき、役員会（通常総会・理事会・常任理事会）の開催状況、事業の実施状況、各種委員会の開催状況、会務報告等について詳細な報告が行われた。

2. 審議事項

(1) 第1号議案「平成30年度財務諸表の承認を求める件」

宍戸寛治専務理事から、通常総会資料「平成30年度財務諸表」に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳書等に係る財務諸表について、「今回の決算から経常収益・経常費用ともに公益目的事業会計7割、法人会計3割の比率（配賦割合）により計上している」旨を含め、詳細な説明が行われた。

続いて、岩崎文昭監事から、通常総会資料「監査報告書」に基づき、平成30年度事業及び財務等に関する監事の監査報告が行われた。

以上の説明に基づき、議長により、「平成30年度財務諸表の承認を求める件」について採決が行われ、満場一致でこれが承認された。

(2) 第2号議案「役員（理事及び監事）選任の件」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「役員（理事及び監事）選任の件」に基づき、本通常総会の終結をもって理事全員並びに監事1名が任期満了となることに伴い、理事30名（重任予定25名、新任予定5名）及び監事1名（重任予定）の選任について提案がなされた。

議長により、「理事30名（重任予定25名、新任予定5名）の選任に係る一括での採決の可否」について採決が行われ、満場一致で「一括での採決」が承認された。

続いて、議長により、理事30名（重任予定25名、新任予定5名）の選任について、一括での採決が行われ、次のとおり理事30名が満場一致で選任された。

次に、監事1名の選任について採決が行われ、杉崎弘章監事が満場一致で選任された。

理事（重任）（25名）

秋澤忠男	安藤亮一	今田直樹	太田圭洋	加藤明彦
亀川隆久	久木山厚子	隈博政	久保和雄	黒田重臣
甲田豊	佐藤壽伸	佐中孜	澤宏紀	宍戸寛治
篠田俊雄	鈴木都美雄	土谷晋一郎	戸澤修平	沼田明
百武宏幸	前田憲志	村上秀一	山川智之	山下達博

理事（新任）（5名）

東仲宣	伊藤孝史	小林真也	酒井謙	依藤良一
-----	------	------	-----	------

監事（重任）（1名）

杉崎弘章

(3) 第3号議案「新たな規程の制定について承認を求める件」

太田圭洋常務理事から、通常総会資料「新たな規程の制定について」に基づき、「常任理事会設置規程（案）」及び「会員に関する規程（案）」について詳細な説明が行われた。

議長により、「常任理事会設置規程の制定」について採決が行われ、満場一致で当規程の制定が承認された。

続いて、議長により、「会員に関する規程の制定」について採決が行われ、満場一致で当規程の制定が承認された。

3. その他

• 定款変更に向けた検討について

宍戸寛治専務理事から、定款に関して、名誉会員の創設及び顧問の在り方、並びに都道府県透析医会の位置付けを含めた定款の目的について、その変更に向けた検討を行いたい旨の説明が行われた。

12時25分をもって通常総会の議題全てが終了し、議長は閉会を宣し解散した。

配布資料

報告事項

平成 30 年度事業報告

I. 事業の状況

1. 役員会等に関する事項

(1) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 30 年 5 月 20 日 通常総会	1. 平成 29 年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件 2. 役員（監事）選任の件	承認 承認

(2) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 30 年 4 月 20 日 第 1 回理事会	【審議事項】 1. 平成 29 年度事業報告について 2. 平成 29 年度財務諸表について 3. 監査報告 4. 監事選任について 5. 通常総会提出議案について 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件 第 2 号議案 役員（監事）選任の件 6. 平成 29 年度入会者について（報告）	承認 承認 承認 承認
平成 30 年 5 月 20 日 第 2 回理事会	1. 診療報酬改定の影響について（経過説明等）	
平成 31 年 2 月 22 日 第 3 回理事会	【審議事項】 1. 平成 30 年度公募研究助成の決定について 2. 2019 年度事業計画について 3. 2019 年度予算について 4. 役員（理事及び監事）の選任について 5. 新たな規定の制定について ・常任理事会設置規程（案） ・会員に関する規程（案） ・謝金の支払いに関する規程（案） 6. 日本透析医会雑誌執筆規定の改正について 7. その他 【報告事項】 1. 業務執行理事の職務の執行状況について 2. 透析排水管理に関する諸問題について 3. 役員就任時における確認書の提出について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(3) 常任理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 30 年 4 月 20 日 第 1 回常任理事会	【審議事項】 1. 理事会・総会提出議案について • 平成 29 年度事業報告及び財務諸表等について 2. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について 3. 災害時対応について (1) イリジウム携帯の今後の対応方針について (2) 災害時情報ネットワークシステム機能追加（アクセス解析の導入と調査）について 4. 透析医療に関するグランドデザイン作成検討委員会 「透析におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループ」について 5. 公募研究助成と臨床研究法との関係について 6. 新規入会者について 【報告事項】 1. 平成 29 年度決算（監事監査結果）について 2. 支部長会の開催案内について 3. 委員会報告 • 透析医療研究会 4. 第 22 回透析医療費実態調査（レセプト分析調査）について 5. 会員数について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成 30 年 5 月 19 日 第 2 回常任理事会	【審議事項】 1. 平成 30 年通常総会及び理事会について 2. 第 22 回（2018 年度）レセプト分析調査（システム開発，経費）について 3. 介護施設での透析患者の受入状況調査について 4. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について 5. 支部長会について 6. 透析医療研究会に対する当会の対応について 7. 新規入会者について 【報告事項】 1. 衛星携帯電話イリジウムについて 2. 第 19 回災害時情報ネットワーク会議について 3. 寄附金の依頼について 4. 会員数について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成 30 年 6 月 22 日 第 3 回常任理事会 (Web 会議)	【審議事項】 1. 支部開催の研修会，講演会の経費補助について 2. 支部長会について 3. 「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」について 4. 新規入会者について 【報告事項】 1. 事業報告の提出について (1) 事業の概要 (2) 収支相償（決算，予算からみた対応方針の確認） 2. 委員会報告 • 研修委員会 • 会誌編集委員会 3. 「平成 30 年度診療報酬改定の地域への影響に関して」のアンケート調査の実施について 4. 透析医療費実態調査（レセプト分析調査）の調査協力依頼等について 5. 災害時の人工透析医療に関する情報提供のための連絡先の情報提供について（支部長あて） 6. 会員数について	承認 承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 30 年 7 月 27 日 第 4 回常任理事会	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 30 年 7 月豪雨の被災地への支援金募集等について 2. 平成 30 年度 HIV 医療講習会の実施について (公益財団法人エイズ予防財団からの依頼) 3. レセプト分析調査について 4. 研修セミナーの参加申込方法の変更について 5. 支部開催の研修会, 講演会の経費補助について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ 2. 透析液排水処理問題に係る日本透析医学会の委員会開催について 3. レセプト分析調査について (中間報告) 4. 「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」について 5. 会員数について 	<p>承認 承認</p> <p>継続審議 承認 承認</p>
平成 30 年 9 月 28 日 第 5 回常任理事会 (Web 会議)	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 30 年 7 月豪雨の被災地への支援金の配賦等について 2. 支部の設立について <ul style="list-style-type: none"> ・日本透析医会群馬県支部 ・福井県透析施設ネットワーク 3. 新規入会者について 4. 支部開催の研修会, 講演会の経費補助について 5. 医療機関における消費税問題等について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 透析装置の洗浄排水に関する調査について 2. 平成 30 年度 HIV 医療講習会の実施について 3. レセプト分析調査について 4. 「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」について 5. 内閣府立入検査の結果について 6. 研修セミナー (仙台開催) の参加申込状況について 7. 会員数について 	<p>承認</p> <p>承認 承認 承認 承認</p> <p>継続審議</p>
平成 30 年 10 月 19 日 第 6 回常任理事会	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内閣府立入検査の指摘事項に対する対応について 2. 支部開催の研修会, 講習会の経費補助について 3. 2019 年度年間スケジュールについて 4. 定款の一部変更について 5. 日本透析医会雑誌執筆規定に基づく執筆者について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 厚生労働省訪問について <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康局がん・疾病対策課長との意見交換について (2) 保険局医療課長との面談 (要望) について 2. 平成 30 年度中間決算について 3. 委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ ・会誌編集委員会 4. 平成 30 年 7 月豪雨の被災地への支援金の配賦について (最終報告) 5. 「バイフィル専用炭酸水素ナトリウム補充液 1.39%」1 L の製造販売中止について 6. 会員数について 	<p>承認 (一部継続審議)</p> <p>承認 承認 継続審議 承認</p>

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 31 年 2 月 22 日 第 10 回常任理事会	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事会提出議案について 2. 2019 年通常総会について 3. 新規入会者について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 30 年度仮決算について 2. 委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> • 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ • 研究助成審査委員会 • 透析排液管理ワーキンググループ • 会誌編集委員会 • 透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループ • 透析医療に関するグランドデザイン作成検討委員会 3. 会員数について 	承認 継続審議 承認
平成 31 年 3 月 22 日 第 11 回常任理事会	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 通常総会について 2. 定款変更の検討について 3. 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」の改訂委員について 4. 2020 年度秋期研修セミナー（高松開催）の開催日程について 5. レセプト分析調査について 6. 消費税引き上げに伴う診療報酬改定等について 7. 透析排水管理に関する諸問題について 8. 公立福生病院における人工透析中止問題について 9. 新規入会者について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」報告について 2. 2019 年度春期研修セミナー（東京開催）の参加申込状況について 3. 会員数について 4. 2019 年度年間スケジュールについて 	承認 承認 一部修正の上承認 承認 承認 継続審議 一部修正の上承認 継続審議 承認

2. 事業の実施状況

公1 腎不全対策・人工透析療法に関する調査研究、普及、教育研修事業

1. 腎不全対策・人工透析療法に関する調査研究事業

(1) 標準透析療法委員会

平成30年6月29日、神戸商工会議所（神戸市）において、支部長会議を開催し、38名が出席し、診療報酬改定（日本透析医会の見解）、平成30年度診療報酬改定の地域への影響、第22回透析医療費実態調査（レセプト分析調査）、災害時の透析医療に関する情報提供のための連絡先登録等について、詳細な説明・報告及び関連事項の質疑応答を行った。

公立福生病院の人工透析中止問題に関して、日本透析医学会が設置した調査委員会の委員として現地調査等を含め、当問題に対応しているところである。

(2) 腎不全対策委員会

1) CKD（慢性腎臓病）対策部会

- ① 平成30年度臓器移植普及推進月間を主催の一団体として参画し、臓器移植推進国民大会を後援した。
- ② （公社）日本臓器移植ネットワーク運営事業に参画し、腎移植の普及推進に協力した。
- ③ 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループを立ち上げ、2016年度血液透析患者実態調査結果のデータを分析し、次回2021年度調査に向けて調査項目及び調査計画等について検討した。

2) 在宅血液透析部会

平成31年3月29日、「在宅血液透析マニュアル（平成22年2月発刊）」について、在宅血液透析研究会が行ったアンケート調査結果も踏まえ、2020年度のマニュアル改訂に向けて、ワーキンググループを設置することとした。

(3) 医療経済委員会

1) 制度調査部会

平成30年7月、第22回透析医療費実態調査を実施した。170施設の協力を得て、6月分の外来透析診療のレセプト情報をWebシステムにより集計及び分析した。昨年度に導入したクラウド集計で行う新システム（コンピューターソフトが自動的に対象レセプトを抽出）による調査のため、以前のような基準外のレセプトは存在せず、有効レセプト数は全例12,078件（病院5,585件、診療所6,493件）であった。調査結果は、日本透析医会雑誌（Vol.34-No.1）に掲載する。

2) 経営検討部会

① 透析医療機関経営・施設実態調査（2年に1回実施）

2019年度調査に向けて、調査項目等の検討を行った。

② 透析排水管理に関する諸問題について

平成30年7月、東京都下水道局より都内の透析施設において、下水道法の基準を著しく逸脱した排水による下水道管損傷について指摘を受けた。これを受けて、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本透析医会の3団体で、透析関連排水の実態調査、透析装置の洗浄・消毒について、透析医療機関における排水管理のあり方について討議を重ねた。

平成31年1月25日に「透析施設の排水による下水道管損傷事例発生とその対策について」、2月8日に「透析排水管理について」をホームページに掲載し、会員に周知した。

この透析排水管理に関する諸問題については、日本透析医学会内に設置した「透析排水管理ワーキンググループ」において、「透析排水管理に対する対策マニュアル」の策定等について検討することとしている。このワーキンググループは、3団体の代表により構成され、当会からは専務理事が委員

として参加している。

平成31年4月1日に、下水道法ならびに関連自治体条例等を遵守するため、透析関連排水に関して3団体による「透析関連排水に関する勧告」をホームページに掲載し、会員に周知した。

(4) 医療保険委員会

① 平成30年度診療報酬改定の地域への影響についての簡易アンケート

平成30年5月、支部を対象に各地域での影響について調査した。調査結果については6月29日支部長会議にて報告し、情報交換を行った。

② 第23回透析保険審査委員懇談会

平成30年6月29日、全国の保険審査委員78名が参加した。事前に実施したアンケート（検討事項、要望事項等）に基づき、基本診療料、医学管理、検査・画像、投薬・注射、処置、手術の診療行為別に討論を行った。詳細な報告については、日本透析医会雑誌（Vol.33-No.3）に掲載した。

(5) 介護保険委員会

平成30年6月、福岡県透析医会に「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」を調査依頼した。福岡県透析医会は、福岡県等の行政機関の協力を得て、8月上旬に福岡県内の介護関連入居施設（2,418施設）に調査を実施した。

平成31年1月31日、福岡県透析医会介護保険委員会委員長、福岡県介護委員ほか関係者で、解析結果のまとめ方、解析結果に基づく今後の方向性等について検討した。調査結果については、日本透析医会雑誌（Vol.34-No.2）にて報告する予定である。

(6) 透析医療に関するグランドデザイン作成検討委員会

① 平成31年2月8日、委員会の在り方及び今後の透析室運営とコメディカルスタッフの役割等、具体的検討事項（今後の透析医療供給体制の維持、高齢化対応、透析室におけるチーム医療等）について、検討及び討議を行った。

② 中長期的な将来構想等を検討する委員会として、委員会名を「透析医療の中長期的な在り方検討委員会」に改称した。

③ 透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループの設置

透析医療の現状を踏まえ、将来的に良質で効率的な透析医療提供体制の確保に向けて、透析医療の現場での業務内容、安全性の確保等を、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本腎不全看護学会と協同で討議するために当ワーキンググループを設置した。

平成31年2月8日、「透析医療における職種別業務分担に関する調査報告」（平成24年調査実施、日本透析医会雑誌 Vol.27-No.1にて報告）をもとに、今後の透析医療の提供体制における看護師及び臨床工学技士の担うべき役割等について、検討及び討議を行った。

2. 人工透析療法の普及事業

(1) 会誌編集委員会

① 機関誌の発刊

「日本透析医会雑誌」Vol.33-No.1（4月）、Vol.33-No.2（8月）、Vol.33-No.3（12月）の3巻を発行した。

② 機関誌の充実

・透析医療経済と災害対策問題を重要課題とし、また、透析医療に関する最新・話題の学術論文の提

供、各種実態調査報告等をタイムリーに提供するため、企画・検討し、機関誌に掲載した。
 ・病理組織、災害状況などの図表のカラー化を進め、機関誌の充実を図った。

③ 研修セミナー・学会研究会等の各種案内を機関誌に掲載し、各種学術情報を提供した。

3. 人工透析療法に関わる医療従事者の教育研修事業

(1) 研修委員会

① 研修セミナー開催

・春期（東京開催）

主 題：糖尿病および糖尿病性腎臓病

開催日：平成30年5月20日（日）

会 場：ソラシティカンファレンスセンター

参加数：305名

・秋期（仙台開催）

主 題：今日の透析療法—抱える諸問題と解決への模索—

開催日：平成30年11月11日（日）

会 場：江陽グランドホテル

参加数：176名

・2019年度の研修セミナーについて

春期は5月19日（日）に東京において「透析医療における Safety Management」を、秋期は11月3日（日）に熊本において「透析医療は・・・此処まで来て・・・何を抱えて・・・何処を目指すのか」を開催することを決定した。

② 地域医療システム確立のための都道府県単位で開催される研修会への経費補助

支部（都道府県透析医会）が開催した以下の研修会・講演会（14支部）へ経費の助成を行った。

- ・静岡県透析医会 「第52回静岡県腎不全研究会」
- ・日本透析医会福島県支部 「日本透析医会福島県支部学術講演会」
- ・北海道透析医会 「北海道透析医会・総会並びに学術講演会」
- ・青森県透析医会 「第42回青森人工透析研究会」
- ・熊本県透析施設協議会 「平成30年度熊本県透析施設協議会スタッフ講習会」
- ・鹿児島県透析医会 「鹿児島県透析医会学術講演会」
- ・宮城県透析医会 「第47回宮城県腎不全研究会」
- ・大阪透析医会 「大阪透析医会講演会」
- ・宮崎県透析医会 「第46回宮崎県人工透析研究会」
- ・長野県透析医会 「第66回長野県透析研究会学術集会」
- ・愛知県透析医会 「平成30年度愛知県透析医会研修会」
- ・神奈川県透析医会 「第2回神奈川県透析医会総会・学術講演会」
- ・京都透析医会 「第39回京都透析医会総会・学術集会」
- ・東京都透析医会 「第47回東京透析研究会」

公2 人工透析療法に関する研究助成事業

1. 研究事業

(1) 公募研究助成審査委員会

平成31年1月25日、公募研究助成申請23件について厳正なる審査を行い、13件（総額18,300,000

円) を採択し、2月22日の理事会でこれを承認した。

• FGF23 の HFpEF への関与についての検討 (昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 溝渕 正英)	2,000,000 円
• 後天性嚢胞腎における NGS を用いた網羅的遺伝子発現解析 (筑波大学医学医療系腎・血管病理学講座 川西 邦夫)	1,850,000 円
• 腹膜透析に伴う腹膜リンパ管新生における CTGF の意義の解明 (愛知医科大学医学部 鬼無 洋)	1,700,000 円
• 透析患者におけるインスリン抵抗性が骨・ミネラル代謝、予後へ与える影響についての検討 (東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科 中島 章雄)	1,600,000 円
• 多発性嚢胞腎 (ADPKD) における嚢胞内出血と疾患進行速度の関係 (虎の門病院分院 諏訪部達也)	1,550,000 円
• 新規腎線維化制御因子を標的としたアンチセンス核酸医薬の創製 (大阪大学大学院薬学研究科臨床薬効解析学分野 尾花 理徳)	1,500,000 円
• 腹膜透析における p38MAPK を介した MMP-10 の役割解明 (京都大学腎臓内科 横井 秀基)	1,500,000 円
• 長期腹膜透析による腹膜の補体制御機構への影響に関する研究 (名古屋大学大学院医学系研究科腎不全システム治療学寄附講座 水野 正司)	1,500,000 円
• 腎臓病における DNA を介した炎症の制御 (自治医科大学医学部炎症・免疫研究部/腎臓内科 駒田 敬則)	1,400,000 円
• 肝臓内局所酸素飽和度観察による透析低血圧症の発症予知に関する検討 (自治医科大学附属さいたま医療センター腎臓内科 大河原 晋)	1,100,000 円
• 血液透析システムにおける透析液品質の維持向上のためのバイオフィルムを勘案した血液透析システム用洗浄消毒の科学的評価法の検討 (越谷大袋クリニック内科 大藪 英一)	1,000,000 円
• 横紋筋融解症に合併する急性腎障害における、血小板活性化受容体 CLEC-2 の役割の解明 (山梨大学大学院総合研究部医学域臨床検査医学講座 大竹 志門)	800,000 円
• 腹膜中皮細胞選択的な肝細胞増殖因子の長期遺伝子導入による腹膜線維症に対する新規治療法の開発 (長崎大学医歯薬学総合研究科 川上 茂)	800,000 円

公3 人工透析療法に関する安全対策事業

1. 災害時における国、地方公共団体等が行う腎不全医療に関する安全対策への協力事業

(1) 災害時透析医療対策委員会

① 第19回災害時情報ネットワーク会議

平成30年6月29日、各都道府県災害時情報ネットワーク関係者など99名の参加を得て開催された。特別講演「日本透析医会埼玉県支部の設立まで」(さいたま赤十字病院腎臓内科部長: 雨宮守正先生)が行われた後、JHAT(日本災害時透析医療協働支援チーム)からの活動報告(山家敏彦事務局長)、各支部からの活動報告(書面報告)、災害時情報ネットワーク本部から平成29年度活動報告と平成30年度活動計画についての説明等が行われた。

また、災害時情報ネットワーク活動開始基準（震度）の見直しについて、これまでの実績を踏まえ、災害時情報ネットワークの立上げ基準を震度5強から震度6弱以上に変更することについて審議し、承認された。

なお、会議の詳細は、日本透析医会雑誌（Vol.33-No.3）に掲載した。

② 第19回災害時情報伝達訓練

平成30年9月1日、地域における情報伝達網を活用して、地域情報伝達用ホームページまたは本部ホームページに施設情報の登録を依頼し、42都道府県で計1,947施設が参加した。

③ 災害時の対応

・災害時情報活動

以下の大規模災害（地震：震度6弱*以上、風水害、火山活動等）に対応して、災害時情報メーリングリスト（Joho_mail）を活用して災害時情報活動を行った。

- ・平成30年 4月 9日 島根県西部を震源とする地震（M6.1, 震度5強）
 - 5月25日 長野県北部を震源とする地震（M5.2, 震度5強）
 - 6月18日 大阪府北部を震源とする地震（M6.1, 震度6弱）〈大阪府北部地震〉
 - 7月 8日 台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨〈平成30年7月豪雨〉
 - 7月28日 台風12号による大雨（東日本～西日本）
 - 9月 4日 台風21号による大雨（近畿地方）
 - 9月 6日 北海道胆振地方中東部を震源とする地震（M6.7, 震度7）
〈平成30年北海道胆振東部地震〉
 - 9月30日 台風24号による大雨（中部地方）
 - 10月24日 大島大橋の送水管破断（山口県周防大島町）
 - ・平成31年 1月 3日 熊本県熊本地方を震源とする地震（M5.1, 最大震度6弱）
- ※地震発生時の情報収集開始震度の変更：震度5強→震度6弱
〔第19回災害時情報ネットワーク会議（6月29日開催）において決定〕

・災害支援

平成30年7月豪雨に際し、被災地の透析施設等への支援のための募金活動を行い、関係各方面より総額53,460,816円の支援金が寄せられ、その全額を岡山県及び広島県の被災地の透析施設等へ支援した。配賦先等の詳細については、ホームページに掲載し報告した。

④ 災害時情報ネットワークの保守・管理（システム及びメーリングリスト）

⑤ JHAT（日本災害時透析医療協働支援チーム）への参画、協力

2. 医療安全対策事業

(1) 医療安全対策委員会

1) 感染対策部会

「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」（2015年3月発刊）の改訂に向けて、日本透析医学会、日本臨床工学技士会、日本腎不全看護学会及び日本環境感染学会に改訂に係る委員の推薦を依頼し、平成31年4月からの改訂作業に向けて、準備を進めた。

その他の事業

1. 情報管理委員会

ホームページの運用・管理を行い、以下の情報をホームページへ掲載し、情報発信をした。

- ・平成30年 4月 3日 平成30年度事業計画・平成30年度予算

- 4月27日 日本透析医会雑誌 Vol.33-No.1
- 4月28日 平成30年度日本透析医会公募研究助成のご案内
- 5月25日 平成29年度事業報告・財務諸表、役員名簿
- 6月5日 研修セミナー DVD の貸出しについて (2018年5月開催までのもの)
 - 〳 研修セミナー「透析医療における Current Topics 2018 (仙台開催)」
(平成30年11月11日開催)
- 7月10日 平成30年7月豪雨の被災地への緊急支援のお願い
- 7月13日 厚生労働省「腎疾患対策検討会報告書」
- 8月31日 日本透析医会雑誌 Vol.33-No.2
- 11月28日 平成30年7月豪雨被災地への支援金について (ご報告)
- 12月27日 研修セミナー DVD の貸出しについて (2018年11月開催までのもの)
 - 〳 研修セミナー講演録 (2018年5月東京開催)
 - 〳 研修セミナー「透析医療における Current Topics 2019 (東京開催)」
(2019年5月19日開催)
 - 〳 日本透析医会雑誌 Vol.33-No.3
- 平成31年 1月25日 透析施設の排水による下水道管損傷事例発生とその対策について (会告)
- 2月8日 透析排水管理について (会告)
- 3月13日 平成30年度公募研究助成の審査結果について
- 4月1日 透析関連排水に関する勧告

3. 各種委員会の開催状況

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
<ul style="list-style-type: none"> 標準透析療法委員会 平成 30 年 6 月 29 日 (支部長会) 	<ol style="list-style-type: none"> 診療報酬改定について <ol style="list-style-type: none"> 平成 30 年度診療報酬改定についての日本透析医会の見解 平成 30 年度診療報酬改定の地域への影響について 平成 30 年度透析医療費実態調査(レセプト分析調査)について 災害時の人工透析医療に関する情報提供のための連絡先について 	報告 報告 報告 報告
<ul style="list-style-type: none"> 腎不全対策委員会 CKD 対策部会 血液透析患者実態調査検討 ワーキンググループ 平成 30 年 6 月 28 日 平成 30 年 9 月 11 日 平成 31 年 1 月 24 日 在宅血液透析部会 平成 31 年 3 月 29 日 	2016 年度全国透析患者実態調査のデータ分析 2016 年度全国透析患者実態調査のデータ分析 2016 年度全国透析患者実態調査のデータ分析 <ol style="list-style-type: none"> 在宅血液透析管理マニュアルに関するアンケート結果について 「在宅血液透析管理マニュアル」(平成 22 年 2 月発刊)の改訂について 	継続審議 継続審議 継続審議 報告 承認
<ul style="list-style-type: none"> 介護保険委員会 平成 31 年 1 月 31 日 (関係者による検討会) 	<ol style="list-style-type: none"> 「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」について 解析方法及び報告書作成について 	報告 継続審議
<ul style="list-style-type: none"> 透析医療に関するグランド デザイン作成検討委員会 平成 31 年 2 月 8 日 <p>透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループ 平成 31 年 2 月 8 日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 委員会の在り方について 今後の透析室運営とコメディカルスタッフの役割について 具体的な検討事項 <ol style="list-style-type: none"> 今後の透析供給体制の維持について 高齢化対応について 障害者医療のカバー範囲について 透析室におけるチーム医療について 過疎地域における透析医療のあり方について 通院困難透析患者に対する問題について 透析自主機能評価指標の改訂について <ol style="list-style-type: none"> 透析室におけるチーム医療について その他 	承認 継続審議 継続審議 継続審議 継続審議 報告 継続審議 継続審議 継続審議 継続審議
<ul style="list-style-type: none"> 会誌編集委員会 平成 30 年 6 月 1 日 <p>平成 30 年 10 月 12 日</p> <p>平成 31 年 2 月 8 日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 33 巻 1 号について 33 巻 2 号について(進捗状況・学会案内) 33 巻 3 号について(企画・方針) 執筆規定の一部修正について <ol style="list-style-type: none"> 33 巻 2 号について 33 巻 3 号について(進捗状況・学会案内) 34 巻 1 号について(企画・方針) 研修セミナー講演原稿未提出者について <ol style="list-style-type: none"> 33 巻 3 号について 34 巻 1 号について(進捗状況・学会案内) 34 巻 2 号について(企画・方針) 執筆規定の改正及び執筆要領の制定について 	報告 報告 承認 承認 報告 報告 承認 報告 報告 承認 一部修正の上承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
<ul style="list-style-type: none"> • 研修委員会 平成 30 年 5 月 19 日 平成 30 年 11 月 10 日 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018 年度研修セミナー（仙台開催）について 2. 2019 年度研修セミナー（東京開催）について 3. 支部開催の研修会，講演会の経費補助について 1. 2019 年度研修セミナー（東京開催）について 2. 2019 年度研修セミナー（熊本開催）について 3. 支部開催の研修会，講演会の経費補助について 4. 研修セミナー講演原稿未提出者について 5. 研修セミナーの講演時間，演題数について 	<p>報告 承認 承認 報告 承認 承認 承認</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 研究助成審査委員会 平成 31 年 1 月 25 日 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 書面審査結果報告 2. 研究助成申請課題の採否について 	<p>報告 承認</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 災害時透析医療対策委員会 平成 30 年 6 月 29 日 (災害時情報ネットワーク 会議) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別講演「日本透析医会埼玉県支部の設立まで」 2. JHAT 活動報告 3. 支部活動報告 4. 平成 29 年度活動報告 5. 平成 30 年度活動計画 6. 第 19 回情報伝達訓練の実施等について 	<p>報告 報告 報告 承認 承認</p>

4. 会務報告

30. 4. 13 監事監査：岩崎監事・杉崎監事・渡邊監事
30. 5. 20 平成 30 年通常総会・研修セミナー「透析医療における Current Topics 2018（東京開催）」開催
　　〃 後援：（一社）全国腎臓病協議会「2018 年度全腎協全国大会 in もりおか」
30. 5. 24 「平成 30 年度診療報酬改定の地域への影響に関して（簡易アンケート調査）」実施
　　（各都道府県透析医会 42 支部あて依頼）
30. 5. 26 後援：（公社）日本臨床工学技士会「第 28 回日本臨床工学会（横浜）」
　　～5. 27
30. 6. 4 「災害時の人工透析医療に関する情報連携のための連絡先について」
　　（各都道府県透析医会 42 支部あて情報提供協力依頼）
30. 6. 5 東京法務局あて申請：変更登記申請書
30. 6. 11 内閣総理大臣（内閣府）あて報告：変更届出書
30. 6. 25 内閣総理大臣（内閣府）あて報告：平成 29 年度事業報告等
30. 6. 26 「第 22 回透析医療費実態調査」実施（220 施設あて依頼）
30. 7. 7 後援：（公社）日本臨床工学技士会「第 11 回透析液安全管理責任者研修会（東京）」
　　～7. 8
30. 7. 27 監事監査：岩崎監事
30. 10. 1 主催：厚生労働省「平成 30 年度臓器移植普及推進月間」
　　～10. 31
30. 10. 2 厚生労働省健康局がん・疾病対策課長訪問（災害時の透析医療の確保に関する意見交換）
　　：秋澤会長・宍戸専務理事・太田常務理事・山川常務理事
　　〃 厚生労働省保険局医療課長訪問（消費税引き上げに伴う診療報酬改定に関する要望）
　　：秋澤会長・太田常務理事・山川常務理事
30. 10. 7 後援：厚生労働省「平成 30 年度臓器移植推進国民大会（京都）」
30. 10. 19 平成 30 年度中間決算実施
　　〃 監事監査：岩崎監事
30. 11. 9 （公社）日本医師会訪問（消費税引き上げに伴う診療報酬改定に関する要望）
　　：秋澤会長・太田常務理事
30. 11. 11 研修セミナー「透析医療における Current Topics 2018（仙台開催）」開催
30. 12. 2 後援：（公財）宮城県腎臓協会「第 47 回宮城県腎不全研究会」（宮城）
31. 1. 16 東京法務局あて申請：変更登記申請書
31. 1. 21 内閣総理大臣（内閣府）あて報告：変更届出書
31. 1. 25 監事監査：岩崎監事
31. 2. 10 後援：NPO 東京腎臓病協議会「第 30 回腎臓病を考える都民の集い」（東京）
31. 3. 26 内閣総理大臣あて（内閣府）提出：2019 年度事業計画書・収支予算

II. 法人の概況

1. 役員に関する事項

(1) 理事

2019年3月31日現在

役職名	氏名	現職
会長	秋澤 忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
副会長	隈 博政	医療法人明楽会 理事長（くまクリニック）
〃	篠田 俊雄	つくば国際大学医療保健学部医療技術学科 教授
専務理事	宍戸 寛治	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 院長
常務理事	太田 圭洋	社会医療法人名古屋記念財団 理事長（名古屋記念病院）
〃	甲田 豊	医療法人社団甲田内科クリニック 理事長
〃	土谷晋一郎	特定医療法人あかね会 理事長（土谷総合病院）
〃	戸澤 修平	医療法人社団北辰 理事長（クリニック1・9・8札幌）
〃	山川 智之	特定医療法人仁真会 理事長（白鷺病院）
理事	秋葉 隆	医療法人社団瑛会 東京ネクスト内科・透析クリニック 名誉院長
〃	安藤 亮一	武蔵野赤十字病院 副院長
〃	今田 直樹	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院 副院長
〃	加藤 明彦	国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院血液浄化療法部 病院教授
〃	亀川 隆久	独立行政法人地域医療機能推進機構南海医療センター 名誉院長
〃	久木山厚子	医療法人社団三村久木山会 理事長（宇土中央クリニック）
〃	久保 和雄	医療法人社団昇陽会 高円寺すずきクリニック 院長
〃	黒田 重臣	くろだ明大前クリニック 院長
〃	佐藤 壽伸	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院 統括診療部長
〃	佐中 孜	社会福祉法人仁生社 江戸川病院 生活習慣病CKDセンター長
〃	澤 宏紀	元国立健康・栄養研究所 所長
〃	鈴木都美雄	医療法人鈴木泌尿器科 理事長
〃	西岡 正登	特定医療法人五仁会 理事長（住吉川クリニック）
〃	沼田 明	医療法人尚腎会 高知高須病院 名誉院長
〃	百武 宏幸	医療法人百武医院 理事長
〃	前田 憲志	医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック 院長
〃	村上 秀一	医療法人三良会 理事長（村上新町病院）
〃	山下 達博	医療法人社団博寿会 理事長（山下医院）

- すべて非常勤，無報酬
- 任期：2017年5月21日～2019年5月19日まで

(2) 監事

2019年3月31日現在

監事	岩崎 文昭 ^{※2}	鳥飼総合法律事務所 弁護士・公認会計士
〃	杉崎 弘章 ^{※1}	医療法人社団心施会 会長（八王子東町クリニック）
〃	渡邊 有三 ^{※2}	春日井市民病院 院長

- すべて非常勤，無報酬
- 任期：※1 2017年5月21日～2019年5月19日まで
※2 2018年5月20日～2020年5月17日まで

2. 会員に関する事項

会員区分*		平成 29 年度 (平成 30 年 3 月 31 日現在)	平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日現在)	増 減
A 会員	(1)	437 名	438 名	1 名
	(2)	170 名	165 名	-5 名
	(3)	95 名	92 名	-3 名
	(4)	56 名	58 名	2 名
B 会員	(1)	158 名	157 名	-1 名
	(2)	202 名	203 名	1 名
合 計		1,118 名	1,113 名	-5 名

※会員区分について

A 会員：私的医療機関の管理者・透析部門責任者

(所属施設の透析機台数に応じ (1)～(4) に区分)

(1) 30 台以上 (2) 20～29 台 (3) 10～19 台 (4) 0～9 台

B 会員：公的医療機関の管理者・透析部門責任者及び勤務医

(1) 公的医療機関の管理者・透析部門責任者

(2) 勤務医

第1号議案

平成30年度財務諸表

1. 貸借対照表（平成31年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	26,953	1,186	25,767
普通預金	19,317,902	14,432,140	4,885,762
ゆうちょ銀行振替口座	77,257	130,723	△ 53,466
流動資産合計	19,422,112	14,564,049	4,858,063
2. 固定資産			
(1) 基金			
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	202,004,889	0
基金合計	202,004,889	202,004,889	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,486,325	5,024,265	462,060
特定資産合計	5,486,325	5,024,265	462,060
(3) その他固定資産			
電話加入権	563,372	563,372	0
淡路建物ビル保証金	6,300,000	6,300,000	0
警備保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	6,913,372	6,913,372	0
固定資産合計	214,404,586	213,942,526	462,060
資産合計	233,826,698	228,506,575	5,320,123
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	565,972	572,737	△ 6,765
未払金	6,900,000	6,000,000	900,000
流動負債合計	7,465,972	6,572,737	893,235
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,486,325	5,024,265	462,060
固定負債合計	5,486,325	5,024,265	462,060
負債合計	12,952,297	11,597,002	1,355,295
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	220,874,401	216,909,573	3,964,828
正味財産合計	220,874,401	216,909,573	3,964,828
負債及び正味財産合計	233,826,698	228,506,575	5,320,123

2. 正味財産増減計算書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 研究助成事業基金運用益 研究助成事業基金受取利息	20,200	20,200	0
② 受取入会金 受取入会金	240,000	390,000	△ 150,000
③ 受取会費 受取会費	88,150,000	89,520,000	△ 1,370,000
④ 受取寄付金 受取寄付金	15,900,000	17,100,000	△ 1,200,000
⑤ 受取支援金 受取支援金	53,460,816	0	53,460,816
⑥ 事業収益 研修セミナー参加費	814,000	488,000	326,000
⑦ 雑収益 受取利息	2,470	1,956	514
雑収入	1,024,199	2,755,175	△ 1,730,976
経常収益計	159,611,685	110,275,331	49,336,354
(2) 経常費用			
事業費			
調査研究、普及、教育研修事業	49,577,477	42,247,228	7,330,249
給与手当	9,256,165	8,815,392	440,773
退職給付費用	184,824	178,296	6,528
福利厚生費	64,884	48,235	16,649
会議費	543,288	1,145,494	△ 602,206
旅費交通費	4,145,990	3,781,820	364,170
通信運搬費	1,344,087	1,391,145	△ 47,058
事務消耗品費	933,372	862,402	70,970
印刷製本費	12,372,288	12,131,089	241,199
水道光熱費	86,578	88,366	△ 1,788
家賃	1,654,987	1,776,354	△ 121,367
原稿料	2,606,440	1,973,220	633,220
諸会費	21,648	81,648	△ 60,000
警備等委託費	420,533	578,083	△ 157,550
ホームページ管理費	349,488	384,048	△ 34,560
レセプト調査費	2,376,000	1,620,000	756,000
日本臓器移植ネットワーク会費	100,000	2,000,000	△ 1,900,000
調査研究費	1,000,000	100,040	899,960
研修セミナー開催費	9,899,006	3,318,500	6,580,506
研修会等助成費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
雑費	817,899	473,096	344,803
研究助成事業	25,740,727	25,181,564	559,163
給与手当	4,628,084	4,407,696	220,388
退職給付費用	92,412	89,148	3,264
福利厚生費	32,442	24,118	8,324
会議費	48,965	38,020	10,945
旅費交通費	93,920	93,340	580

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	107,168	110,306	△ 3,138
事務消耗品費	466,688	431,200	35,488
印刷製本費	56,948	86,260	△ 29,312
水道光熱費	43,290	44,184	△ 894
家賃	827,494	888,176	△ 60,682
謝金	267,288	267,288	0
諸会費	10,824	40,824	△ 30,000
警備等委託費	210,266	289,042	△ 78,776
ホームページ管理費	174,744	192,024	△ 17,280
研究助成費	18,300,000	18,000,000	300,000
雑費	380,194	179,938	200,256
安全対策事業	60,928,931	7,873,024	53,055,907
給与手当	2,314,042	2,203,848	110,194
退職給付費用	46,206	44,574	1,632
福利厚生費	16,221	12,059	4,162
会議費	245,413	544,074	△ 298,661
旅費交通費	31,760	23,840	7,920
通信運搬費	88,072	84,852	3,220
事務消耗品費	233,344	215,600	17,744
印刷製本費	28,474	43,130	△ 14,656
水道光熱費	21,645	22,092	△ 447
家賃	413,747	444,088	△ 30,341
諸会費	5,412	20,412	△ 15,000
警備等委託費	105,133	144,521	△ 39,388
ホームページ管理費	87,372	96,012	△ 8,640
システム管理費	2,781,987	3,184,393	△ 402,406
災害発生時対応諸経費	824,630	665,000	159,630
災害支援金	53,460,816	0	53,460,816
雑費	224,657	124,529	100,128
事業費計	136,247,135	75,301,816	60,945,319
管理費			
給与手当	6,942,125	6,611,544	330,581
退職給付費用	138,618	133,722	4,896
福利厚生費	48,663	36,176	12,487
会議費	555,206	15,940	539,266
常任理事会費	3,548,687	3,915,483	△ 366,796
理事会費	1,896,586	2,036,100	△ 139,514
総会費	644,378	587,731	56,647
創立30周年記念事業経費	0	7,508,351	△ 7,508,351
旅費交通費	1,014,470	990,240	24,230
通信運搬費	160,753	155,514	5,239
事務消耗品費	700,031	646,801	53,230
印刷製本費	85,423	129,389	△ 43,966
水道光熱費	64,934	66,275	△ 1,341
家賃	1,241,240	1,332,265	△ 91,025
会計委託費	1,080,000	1,200,000	△ 120,000
警備等委託費	315,400	433,562	△ 118,162
慶弔費	122,664	53,437	69,227
諸会費	16,236	61,236	△ 45,000
ホームページ管理費	262,116	288,036	△ 25,920

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
雑費	562,192	261,807	300,385
管理費計	19,399,722	26,463,609	△ 7,063,887
経常費用計	155,646,857	101,765,425	53,881,432
当期経常増減額	3,964,828	8,509,906	△ 4,545,078
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,964,828	8,509,906	△ 4,545,078
一般正味財産期首残高	216,909,573	208,399,667	8,509,906
一般正味財産期末残高	220,874,401	216,909,573	3,964,828
II 指定正味財産期末残高			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	220,874,401	216,909,573	3,964,828

3. 正味財産増減計算書内訳書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

科 目	公益目的事業会計					小 計	法人会計	内部取引消去	合 計
	調査研究、普及、 教育研修事業	研究助成事業	安全対策事業	公益共通					
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
研究助成事業基金運用益	0	20,200	0	0	20,200	0	0	20,200	
研究助成事業基金受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取入会金	0	0	0	168,000	168,000	72,000	0	240,000	
受取会費	0	0	0	61,705,000	61,705,000	26,445,000	0	88,150,000	
受取寄付金	0	0	0	15,900,000	15,900,000	0	0	15,900,000	
受取支授金	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取支援金	0	0	53,460,816	0	53,460,816	0	0	53,460,816	
事業収益	814,000	0	0	0	814,000	0	0	814,000	
研修セミナー参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	2,470	2,470	0	0	2,470	
受取利息	0	0	0	1,024,199	1,024,199	0	0	1,024,199	
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	814,000	20,200	53,460,816	78,799,669	133,094,685	26,517,000	0	159,611,685	
(2) 経常費用									
事業費									
給与手当	9,256,165	4,628,084	2,314,042	0	16,198,291	0	0	16,198,291	
退職給付費用	184,824	92,412	46,206	0	323,442	0	0	323,442	
福利厚生費	64,884	32,442	16,221	0	113,547	0	0	113,547	
会議費	543,288	48,965	245,413	0	837,666	0	0	837,666	
旅費交通費	4,145,990	93,920	31,760	0	4,271,670	0	0	4,271,670	
通信運搬費	1,344,087	107,168	88,072	0	1,539,327	0	0	1,539,327	
事務消耗品費	933,372	466,688	233,344	0	1,633,404	0	0	1,633,404	
印刷製本費	12,372,288	56,948	28,474	0	12,457,710	0	0	12,457,710	
水道光熱費	86,578	43,290	21,645	0	151,513	0	0	151,513	
家賃	1,654,987	827,494	413,747	0	2,896,228	0	0	2,896,228	
謝金	0	267,288	0	0	267,288	0	0	267,288	
原稿料	2,606,440	0	0	0	2,606,440	0	0	2,606,440	
諸会費	21,648	10,824	5,412	0	37,884	0	0	37,884	
警備等委託費	420,533	210,266	105,133	0	735,932	0	0	735,932	
ホームページ管理費	349,488	174,744	87,372	0	611,604	0	0	611,604	
レポート調査費	2,376,000	0	0	0	2,376,000	0	0	2,376,000	
日本臓器移植ネットワーク会費	100,000	0	0	0	100,000	0	0	100,000	
調査研究費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	
研修セミナー開催費	9,899,006	0	0	0	9,899,006	0	0	9,899,006	
研修会等助成費	1,400,000	0	0	0	1,400,000	0	0	1,400,000	
研究助成費	0	18,300,000	0	0	18,300,000	0	0	18,300,000	

(単位：円)

4. 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 退職給付引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上することとしている。

2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高

基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	0	0	202,004,889
小 計	202,004,889	0	0	202,004,889
特定資産				
退職給付引当資産	5,024,265	462,060	0	5,486,325
小 計	5,024,265	462,060	0	5,486,325
その他固定資産				
電話加入権	563,372	0	0	563,372
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0	0	6,300,000
警備保証金	50,000	0	0	50,000
小 計	6,913,372	0	0	6,913,372
合 計	213,942,526	462,060	0	214,404,586

(3) 基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳

基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	(0)	(202,004,889)	(0)
小 計	202,004,889	(0)	(202,004,889)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	5,486,325	(0)	(0)	(5,486,325)
小 計	5,486,325	(0)	(0)	(5,486,325)
その他の固定資産				
電話加入権	563,372	(0)	(563,372)	(0)
淡路建物ビル保証金	6,300,000	(0)	(6,300,000)	(0)
警備保証金	50,000	(0)	(50,000)	(0)
小 計	6,913,372	(0)	(6,913,372)	(0)
合 計	214,404,586	(0)	(208,918,261)	(5,486,325)

5. 附属明細書

(1) 基金，特定資産，その他の固定資産の明細
財務諸表に対する注記（2）に記載している。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			使用目的	その他	
退職給付引当金	5,024,265	462,060	0	0	5,486,325
合 計	5,024,265	462,060	0	0	5,486,325

6. 財産目録（平成 31 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金	手元保管	運転資金として	26,953
	普通預金	りそな銀行	〃	605,599
		三菱 UFJ 銀行	〃	18,712,303
	振替口座	ゆうちょ銀行	〃	77,257
流動資産合計				19,422,112
(固定資産)				
基金	研究助成事業基金	三菱 UFJ 銀行	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業に使用している	202,004,889
定期預金				
特定資産	退職給付引当資産	三菱 UFJ 銀行	職員退職金の支払財源として積み立てている	5,486,325
その他固定資産	電話加入権		共用財産であり、うち 70% は公益の用に供し、30% は管理運営の用に供している	563,372
	淡路建物ビル保証金	(有) 淡路建物ビル	〃	6,300,000
	警備保証金	セコム (株)	〃	50,000
〈その他固定資産合計〉				6,913,372
固定資産合計				214,404,586
資産合計				233,826,698
(流動負債)				
	預り金	会員	会費（重複納入）の預り分	40,000
		職員	源泉所得税の未払い分	220,002
		〃	健康保険の未払い分	73,560
		〃	厚生年金の未払い分	232,410
	未払金	研究助成決定者（4 名分）	研究助成費の未払い分	6,900,000
流動負債合計				7,465,972
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払に備えたもの	5,486,325
固定負債合計				5,486,325
負債合計				12,952,297
正味財産				220,874,401

監査報告書

平成31年4月12日

公益社団法人日本透析医会
会長 秋澤 忠男 殿

公益社団法人日本透析医会

監事 岩崎 文昭 ⑩

監事 杉崎 弘章 ⑩

監事 渡邊 有三 ⑩

私たちは、公益社団法人日本透析医会の平成30年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第2号議案

役員（理事及び監事）選任の件

任期満了に伴う役員を選任について2019年4月の理事会において、2019年度通常総会に役員選任議案を上程することとなりました。

つきましては、下記の理事30名および監事1名の候補者を選任していただきたくお願いいたします。

なお、役員任期は、「令和元年5月19日から令和3年度通常総会の終結の時まで」の2年間となります。

1. 理事（定数30名 候補者30名）

（五十音順）

〔重任〕

秋澤 忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
安藤 亮一	武蔵野赤十字病院 副院長
今田 直樹	社会福祉法人京都社会事業財団西陣病院 副院長
太田 圭洋	社会医療法人名古屋記念財団 理事長（名古屋記念病院）
加藤 明彦	国立大学法人浜松医科大学附属病院血液浄化療法部 病院教授
亀川 隆久	独立行政法人地域医療機能推進機構南海医療センター 名誉院長
久木山 厚子	医療法人社団三村久木山会 理事長（宇土中央クリニック）
隈 博政	医療法人明楽会 理事長（くまクリニック）
久保 和雄	医療法人社団昇陽会 高円寺すずきクリニック 院長
黒田 重臣	くろだ明大前クリニック 院長
甲田 豊	医療法人社団甲田内科クリニック 理事長
佐藤 壽伸	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院 統括診療部長
佐中 孜	社会福祉法人仁生社江戸川病院 生活習慣病CKDセンター長
澤 宏紀	元国立健康・栄養研究所 所長
穴戸 寛治	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 院長
篠田 俊雄	つくば国際大学医療保健学部医療技術学科 教授
鈴木 都美雄	医療法人鈴木泌尿器科 理事長
土谷 晋一郎	特定医療法人あかね会 理事長（土谷総合病院）
戸澤 修平	医療法人社団北辰 理事長（クリニック1・9・8札幌）
沼田 明	医療法人尚腎会 高知高須病院 名誉院長
百武 宏幸	医療法人百武医院 理事長
前田 憲志	医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック 院長
村上 秀一	医療法人三良会 理事長（村上新町病院）
山川 智之	特定医療法人仁真会 理事長（白鷺病院）
山下 達博	医療法人社団博寿会 理事長（山下医院）

〔新任〕

東 伸宣	医療法人財団松圓会 東葛クリニック病院 院長
伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院 診療教授
小林 真也	医療法人社団萌生舎 理事長（宮の沢腎泌尿器科クリニック）
酒井 謙	東邦大学医療センター大森病院 腎センター 教授
依藤 良一	医療法人社団仁成会 理事長（仁成クリニック）

2. 監事（定数3名[※] 候補者1名）

〔重任〕

杉崎 弘章	医療法人社団心施会 会長（八王子東町クリニック）
-------	--------------------------

※定数3名のうち2名は、2018年度通常総会において選任済み（任期：2020年度通常総会の終結の時まで）

第3号議案

新たな規程の制定について

●常任理事会設置規程（案）

常任理事会の役割を明確にするため、本規程を制定するものである。

（下線は変更部分）

規 程（案）	（参考）社団法人時の規程
<p style="text-align: center;">公益社団法人日本透析医会常任理事会設置規程</p> <p>（目的） 第1条 <u>この規程は、公益社団法人日本透析医会定款第37条第3項に基づき設置する常任理事会の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。</u></p> <p>（構成） 第2条 常任理事は、会長、副会長、専務理事及び常務理事をもって充てる。 <u>2 常任理事によって常任理事会を構成する。</u></p> <p>（審議事項） 第3条 常任理事会は、定款第38条第1項の規定に基づき、理事会から委任された事項及び緊急に処理すべき事項として、次の各号に掲げる事項を審議する。 （1）<u>理事会から委任された事項</u> ア 関係機関等との折衝等重要事項で期限に定めのあるものの処理に関すること。 イ 学会等の助成事業に関すること。 ウ 委員会に関すること。 エ 会員の入会及び退会並びに職員の任免に関すること。<u>ただし、会員の入会については、理事会を開催することが困難な場合に限る。この場合は、直近に開催される理事会において、その結果を報告しなければならない。</u> （2）次に掲げるもので、緊急に処理を要する事項 ア 透析医療及び関連事項に関すること。 イ 災害等への対応に関すること。 ウ その他、緊急を要する事項</p> <p>（招集） 第4条 常任理事会は、会長が招集し、その議長となる。 <u>2 副会長、専務理事及び常務理事の3分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって、招集の請求があったときは、会長は、その請求のあった日から14日以内に常任理事会を開催しなければならない。</u></p> <p>（定足数） 第5条 常任理事会は、第2条第1項に掲げる常任理事の過半数の出席がなければ会議を開催することができない。</p>	<p style="text-align: center;">社団法人日本透析医会常任理事会設置規程</p> <p>（設置及び目的） 第1条 <u>本会に常任理事会を置き、会運営の適正推進に寄与することを目的とする。</u></p> <p>（常任理事） 第2条 <u>本会定款第33条の2第2項の規定に基づく常任理事は、会長、副会長、専務理事及び常務理事をもって充てる。</u></p> <p>（常任理事会） 第3条 常任理事会は、<u>定款に定めるもののほか、次の事項を審議する。</u> （1）次に掲げるもので、緊急に処理が必要な事項 ア 透析医療及び関連事項に関すること イ 大規模災害等への対応に関すること ウ その他、緊急を要する事項 （2）関係機関等との折衝等重要事項で期限に定めのあるものの処理に関すること。 （3）学会等の助成事業に関すること。 （4）委員会に関すること。 （5）会員の入会及び退会並びに職員の任免に関すること。</p> <p>（定足数） 第4条 常任理事会は、常任理事の過半数の出席がなければ会議を開催することができない。</p>

規 程 (案)	(参考) 社団法人時の規程
<p>(決議)</p> <p>第6条 常任理事会の決議は、決議に加わることができる第2条第1項に掲げる常任理事の過半数が出席し、その過半数をもって決する。ただし、賛否同数の場合は、会長が決する。</p> <p>(特に緊急を要する場合の議決)</p> <p>第7条 会長は、第3条第2号に規定する緊急に処理を要する事項のうち、特に緊急を要すると判断した場合において、当該事項について書面又は電子的記録により常任理事の過半数の承認を得た場合は、その事項を処理することができる。</p> <p>2 前項の規定に基づき処理した場合には、次に開催する常任理事会において事後承認を得ることとする。</p> <p>(構成員以外の者の出席)</p> <p>第8条 監事は、必要があると認めるときは、常任理事会に出席し、意見を述べることができる。</p> <p>2 会長は、常任理事会に必要なに応じて常任理事以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。</p> <p>(規程の改廃)</p> <p>第9条 この規程の改廃は、総会の決議を経て行うものとする。</p> <p>(補則)</p> <p>第10条 会長は、この規程に定めるもののほか、常任理事会の運営に必要な事項が生じた場合には、理事会に諮って別に定めることができる。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、令和元年5月19日から施行する。 (令和元年5月19日総会決議)</p>	<p>(議決)</p> <p>第5条 常任理事会の決議を要する事項が生じた場合は、出席常任理事の過半数をもって決し、賛否同数の場合は、会長が決する。</p> <p>(特に緊急を要する場合の議決)</p> <p>第6条 会長は、第3条第1項第1号に規定する緊急に処理が必要な事項のうち、特に緊急を要すると判断した場合に限り、専務理事又は会長はあらかじめ順番を指名した役員に命じ、事務局に指示をして常任理事に対し、適切な通信手段等を用いて議決し、常任理事の過半数の承認を得た場合は、その案件の処理をすることができる。</p> <p>2 前項の議決及び処理は、次に開催する常任理事会の事後承認を得ることとする。</p> <p>(意見聴取)</p> <p>第7条 会長は、常任理事会に必要と判断した場合は、常任理事会に諮り、本会会員を常任理事会に招へいし、意見を聞くことができる。</p> <p>(その他)</p> <p>第8条 この規程に定めるもののほか、常任理事会の運営に必要な事項が生じた場合には、会長は、常任理事会並びに理事会に諮って別に定めることができる。</p> <p>(補足)</p> <p>第9条 この規定は、定款の変更の認可のあった日(平成12年9月8日)から施行する。</p> <p>2 この規定の施行日以前の常務理事会又は常任理事会で議決した事項は、同条第1項の規定にかかわらず、適用する。</p>

●会員に関する規程（案）

定款第6条の規定に基づき会員の資格の取得基準を定める必要があるため、本規程を制定するものである。

（下線は変更部分）

規 程（案）	（参考）社団法人時の規程
<p style="text-align: center;">公益社団法人日本透析医会会員に関する規程</p> <p>（目的） 第1条 この規程は、<u>公益社団法人日本透析医会定款第6条第2項の規定に基づき、本会の会員の資格取得に関して基準を定めることを目的とする。</u></p> <p>（会員取得基準） 第2条 本会の会員は、本会の事業に賛同する医師であって、次の各号のいずれにも該当するものとする。 （1）原則として日本医師会の会員であること。 （2）1名以上の本会会員の推薦があること。</p> <p>（入会手続き） 第3条 会員として入会しようとする者は、別紙様式による入会申込書に<u>必要事項を記載し、会長に提出するものとする。</u> 2 入会は、前条の基準に基づき、理事会においてその可否を決定し、<u>会長は、その結果を本人に通知するものとする。ただし、理事会を開催することが困難な場合には、常任理事会においてその可否を決定することができる。この場合は、直近に開催される理事会において、その結果を報告しなければならない。</u></p> <p>（規程の改廃） 第4条 この規程の改廃は、<u>総会の決議を経て行うものとする。</u></p> <p>附 則 <u>この規程は、令和元年5月19日から施行する。</u> <u>（令和元年5月19日総会決議）</u></p>	<p style="text-align: center;">社団法人日本透析医会会員規程</p> <p>第1条 この規程は、日本透析医会定款第6条第2項の規定に基づき、<u>本会の会員基準を定めることを目的とする。</u></p> <p>第2条 本会の会員は、本会の趣旨に賛同する医師であって、次のいずれにも該当するものとする。 （1）原則として日本医師会の会員であること。 （2）1名以上の本会会員の推薦があること。 （3）<u>日本透析医会都道府県支部の合意を得られること。</u></p> <p>第3条 会員として入会しようとする者は、別紙様式による入会申込書を、会長に提出するものとする。 2 入会は、前条の基準に基づき、理事会においてその可否を決定し、<u>その結果を会長が本人に通知するものとする。</u></p> <p>附 則 1 <u>この規程は、平成元年4月1日から施行する。</u> 2 <u>一部改正 平成11年11月21日</u></p>

理事会において選定された役員

公益社団法人日本透析医会役員名簿

会 長	秋澤 忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
副会長	隈 博政	医療法人明楽会 理事長（くまクリニック）
	篠田 俊雄	つくば国際大学医療保健学部医療技術学科 教授
専務理事	宍戸 寛治	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 院長
常務理事	太田 圭洋	社会医療法人名古屋記念財団 理事長（名古屋記念病院）
	甲田 豊	医療法人社団甲田内科クリニック 理事長
	土谷 晋一郎	特定医療法人あかね会 会長（土谷総合病院）
	戸澤 修平	医療法人社団北辰 理事長（クリニック1・9・8札幌）
	山川 智之	特定医療法人仁真会 理事長（白鷺病院）
理 事	東 仲宣	特定医療法人財団松圓会 東葛クリニック病院 名誉理事長 院長
	安藤 亮一	武蔵野赤十字病院 副院長
	伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院腎臓内科 診療教授
	今田 直樹	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院 副院長
	加藤 明彦	浜松医科大学附属病院血液浄化療法部 病院教授
	亀川 隆久	独立行政法人地域医療機能推進機構南海医療センター 名誉院長
	久木山 厚子	医療法人社団三村久木山会 理事長（宇土中央クリニック）
	久保 和雄	医療法人社団昇陽会 高円寺すずきクリニック 院長
	黒田 重臣	くろだ明大前クリニック 院長
	小林 真也	医療法人社団萌生舎 理事長（宮の沢腎泌尿器科クリニック）
	酒井 謙	東邦大学医療センター大森病院 腎センター 教授
	佐藤 壽伸	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院 副院長
	佐中 孜	社会福祉法人仁生社 江戸川病院 生活習慣病CKD センター長
	澤 宏紀	元国立健康・栄養研究所 所長
	鈴木 都美雄	医療法人鈴木泌尿器科 理事長
	沼田 明	医療法人尚腎会 高知高須病院 副理事長（名誉院長）
	百武 宏幸	医療法人百武医院 理事長
	前田 憲志	医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック 院長
	村上 秀一	医療法人三良会 理事長（村上新町病院）
	山下 達博	医療法人社団博寿会 理事長（山下医院）
	依藤 良一	医療法人社団仁成会 仁成クリニック
監 事	岩崎 文昭	鳥飼総合法律事務所 弁護士・公認会計士
	杉崎 弘章	医療法人社団心施会 会長（府中腎クリニック）
	渡邊 有三	春日井市民病院 統括顧問